



第7号

「PMFを応援する会」会報

協奏

2013年5月21日

“市民のあと押しで未来へ続く「奇跡の音楽祭・PMF」”

札幌市民が誇りとする文化資産PMFを継続的に発展させ、ますます魅力的な音楽祭にしたいというPMFファンの熱い思いが、今年も（公財）PMF組織委員会への寄附80万円という形となって結実しました。

「PMF募金」から4回目の寄附



5月9日（木）、「PMFを応援する会」の竹津宜男会長ら4人が札幌市役所市長室を訪問して、今年もPMFを応援して下さった市民の皆さまからお寄せいただいた「PMF募金」から、2012年度分として80万円を（公財）PMF組織委員会（理事長・上田文雄札幌市長）に寄附を致しました。ことしで連続4回目の寄付金贈呈です。

上田理事長からは、「いつも尊いご寄附をありがとうございます」というお礼の言葉があり、「皆さんの活動がどれだけ力強い応援になっているかを広くお知らせをしていきたい」と当会のこれからの活動に期待を寄せられた。その後、当会あての感謝状をいただきました。

その後、上田理事長と懇談する時間をいただき、その席上、竹津会長から「PMFが来年25周年を迎えるので、ますます市民の力が必要とされるでしょう」と述べると、理事長から、来年開催予定の「札幌国際芸術祭」に触れられ、「札幌国際芸術祭では坂本龍一氏をゲストディレクターに迎えて、メインテーマの「都市と自然」を通して、21世紀の札幌・北海道の自然、都市のあり方、経済、暮らしを模索していきたい。「創造都市さっぽろ」の象徴的事業としての国際芸術祭であることをふまえると、その成功にPMFや札幌は大きな役割を担っているのです。ますますの発展を願っている」と、話されていました。

今年も市民の熱い応援のもとにPMFは7月6日に華やかに開幕します。

 野口観光ホテルチェーン

「奇跡の音楽祭」ともいわれるPMFは、2014年に創設から25回目となる記念の年を迎えます。本紙は、まもなく迎える節目の年まで、毎回、特集としてこれからの「PMF」について、その飛躍にかける夢と期待を皆さまと一緒に考えていこうと思います。

「PMF、その飛躍にかける夢と期待」 第2回

今回は少し切り口を変えて、我が街の誇るべき文化資産であるPMFを、ビジネスツールとして活用してビジネスの活性化をはかることを試みようと思います。その一つの例として、当会が主催して開催したワークショップがあります。その模様をご紹介します。

2013年度イベント 「第5回 PMFカフェ・サロン “都市観光の担い手”のつどいーホテル・観光業界とPMFー」

当会は毎年、シリーズ企画「PMFカフェ・サロン」を数度開催しています。そのひとつがPMFという卓越した音楽祭に関連して「活力ある街づくり」「優れた社会貢献」「良質なビジネスチャンス」に寄与したいーという趣旨のワークショップです。今年は昨年1月に次ぐ第2弾として3月25日札幌エルプラザで開催しました。

今回は、観光業界・文化・行政関連の方々呼びかけて活発な話し合いを展開しましたが、今回はホテル業界をメインの対象としました。ホテルの経営者・管理者、企画・営業・マーケティング部門、および札幌市国際芸術展担当課などの方々と当会の計22名が集い熱く語り合いました。竹津宜男会長の「まちの文化資産ーPMFへの夢と期待」と題した基調講話、PMF修了生でパリで活躍中の伊藤光湖さん(ヴァイオリニスト)のお話のあと、ワークショップに移りました。まず「札幌パークホテル」「アートホテルズ札幌」からPMF関連の取り組みが紹介され、事例や発想を共有しました。



ワークショップ「まちの文化資産ーPMFへの夢と期待」

参加者全員と当会のスタッフは3つのグループに分かれて「PMFへのビジネスアプローチ」「PMFをツールとしたビジネスモデル」などをテーマに語り合いました。

このなかで、参加者からは「PMFは十分知られていないので、市民・顧客戦略に取り組む方法が見つからない」「Sapporo City Jazzや音楽祭“ラ・フォル・ジュルネ”などに負けない“祝祭性や観客参加性”を追求すべき」「PMFについてホテル従業員の理解や企業のブランド価値(コアヴァリュー)の共有が必要」……などと、熱心な意見が相次ぎました。最後に話し合いの成果を代表する形でマーケティングの担当者から「ホテルはプロの調理師・パティシエなど優れた“人財”も持っている。PMFにちなんだ、レストランメニュー、picnic(ピクニックコンサート)弁当、PMFオリジナルのスイーツやカクテルなどアイデアは湧き出ます。ホテルは従来型の“空間ビジネス”から更に踏み出し、(広い意味での商品・サービスなど)プロダクトの面で共同企画やエリアプロモーションに挑戦したい」と熱っぽく決意が表明されました。

当会からも「皆さまの要望やニーズに応じて、ホテルへの“PMF出前セミナー”等にも力を注ぎたい」と呼応しました。今回はPMF組織委員会のご理解はもとより、札幌市・札幌観光協会・札幌市内ホテル連絡協議会様に大きなご支援とご協力を頂きました。有難うございました。

「PMFを応援する会」の2012年度の活動をご報告致します

「PMFを応援する会」は発足して5回目の新しい年度を迎えました。おかげさまで前年度(2012年度)も皆さまのご理解とご協力によりまして、活発な活動を展開することが出来ました。

以下に当会の前年度の活動内容をご報告するとともに、2013年度の活動計画をお知らせ致します。あらためまして2013年度も変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

◇ 「PMFを応援する会」平成24年度(2012年度)事業報告 (2012年4月～2013年3月)

- (1) 定例役員会(13回) 2012年4月～2013年3月
- (2) 会計監査 4月5日
- (3) 定例総会 4月23日
- (4) 2011年度募金(公財)PMF組織委員会へ寄付金贈呈 . . . 4月26日
- (5) 「カフェ・サロン」開催 全5回

① 「「街とつながるPMF」音楽と出会い、音楽を愛する人たちと出会う」

開催日：6月19日 参加者：100名 場所：札幌パークホテル
基調講演者：北村清彦(北海道大学芸術学講座教授)
PMF2012聴きどころ：芝木謙子(PMF組織委員会)
ゲスト演奏者：PMFアーティスト／下司貴大・山本真平



② 「ピクニックコンサートで会いましょう」 7月29日

市民とPMFアカデミー生・PMFアーティスト・PMF修了生との出会いの場として
参加者：延べ300名 場所：札幌芸術の森1Fアートホールロビー
コーヒーサービス&交流

③ PMFの創設者・バーンスタインを偲ぶ「ニドム・ツアー」 10月16日

参加者：60名 バーンスタイン・メモリアルホール見学、レストランランチ
札幌芸術の森アートホール・アリーナ見学

ゲスト演奏者：大平まゆみ(札幌交響楽団コンサートマスター)・田中明子(ピアニスト)

④ 「カフェ・サロン」スペシャル 12月26日

竹津宜男「札幌芸術賞」受賞記念講演会

第1部：講演「私の人生と芸術文化」

第2部：Afternoon Tea Party

参加者：105名 場所：札幌パークホテル

ゲスト演奏者：歌劇弾／下司貴大・川島沙耶・山本真平

⑤インセンティブ・セミナー 2013年3月25日

「“都市観光の担い手”のつどい ― ホテル・観光業界とPMF ―」

基調講話：竹津宜男

ワークショップ：ファシリテータ 和島朋広（札幌国際プラザ）

参加者：22名 会場：札幌エルプラザ

(6) PMFフラッグの掲出

「札幌芸術の森」石山東・常盤地区を「PMFウエルカムロード」と定義し、期間中フラッグを掲出（芸術の森地区有志グループ「芸術の森地区PMF支援サークル」とのコラボレーション）

(7) 「協奏」 5号・6号発行 7月5日・12月3日

(8) 「HP」発信・管理

(9) 年間通した活動：募金活動と企業へ事業協力依頼、OCとの連携

<表1 月別募金件数と金額>

月	件数	金額(円)
4月	5	31,000
5月	64	226,000
6月	50	165,000
7月	117	364,125
8月	22	79,000
9月	3	9,000
10月	4	5,000
11月	2	3,000
12月	106	390,000
1月	17	61,000
2月	5	38,000
3月	8	28,000
合計	403	1,399,125

◇ 平成24年度（2012年度）の決算報告

（2012年4月～2013年3月）

- 募金収入 403件 1,399,125円（表1を参照）
（件数で前年対比+4件、金額で前年対比+28,767円）
- 平成24年度の（公財）PMF組織委員会への寄付金額を80万円とすることを決定する。

「PMFを応援する会」の2013年度の活動計画をお知らせ致します

◇ 「PMFを応援する会」平成25年度（2013年度）活動計画

（2013年4月～2014年3月）

① カフェ・サロン全4回開催

その1 一般市民対象 / 3回

6月 PMFの会期直前 「PMF2013の魅力について」

7月 PMF会期最終日「ピクニックコンサートで会いましょう」

札幌芸術の森アートホール1Fロビーにて

9月 PMF会期終了後 「ニドム・ツアー」 25周年への思いを込めて

その2 企業向け / 2012年度インセンティブ・セミナーを受けて

「PMF25周年に向けて、PMFの活性化のために」

- ・企業ができること、
- ・OC・当会と企業・芸術文化団体・その他とのコラボ企画を探る

② 寄付金贈呈 4月

③ 「地域・次世代」との連携

その1 地域との連携企画（昨年度の石山東・常盤地区との連携の継続）

- ・芸術の森地区との新たな取り組み（行政・大学・商店等とのコラボ）

地域の巻き込みを拡大し、コラボ効果でPMFの広報活動を

その2 次世代へつなぐ企画

「カフェ・サロン」特別企画 / 次世代対象

- ・音楽科・アーツマネジメント学生に特化したセミナー、
- ・幼稚園・学校児童生徒を巻き込む企画

④ 募金活動の充実 募金者の動向実態調査

⑤ 「協奏」発行 / 3回発行予定 (6月・8月・12月)

⑥ その他 名義後援・共催事業

(ホテルなどのイベント、コンサート等との連携)

◇ 平成25年度 (2013年度) の募金目標

(2013年4月~2014年3月)

平成25年度 (2013年度) 募金目標について・・・今年度の募金目標を150万円とする。

《募金者名簿》 皆さまのご支援に感謝申し上げます!!!

《募金者名》 2012年4月1日~2013年3月31日 敬称略 五十音順

会津 やよい	伊藤 敬子	小野 洋子	近藤 千鶴子	塩澤 正樹	高橋 来	中島 智栄子	平田 征子	松川 早苗	米永 秀
相羽 和子	伊藤 龍子	表山 千春	紺野 恵美子	繁富 恭子	滝沢 慶彦	中野 清恵	平原 弘美	松川 博	米谷 弘文
青木 敦子	伊藤 光湖	加々谷 玲子	西條 雅穂子	重延 久美子	田熊 悦子	永原 敬子	平松 明子	松田 悦子	若月 香織
青塚 大河	井上 俊司	垣田 恒子	斉藤 愛子	篠田 洋	竹田 芳昭	中村 隆志	廣瀬 キミ子	松田 隆雄	若月 公子
赤石 尚一	井上 睦子	且股 典子	齋藤 昭夫	司馬 政一	竹津 伊織	中村 千賀子	広田 一郎	松田 規子	若月 富男
赤石 知恵子	猪熊 セツ子	加藤 欽也	齊藤 永	島内 猛彦	竹津 理枝子	中村 まり絵	広田 聡	松平 英明	鷺頭 隆
赤坂 博	今井 葉子	加藤 静江	齊藤 和江	島田 宏子	竹津 秀茂	那須野 美智代	広田 美香子	丸山 清子	綿石 弘
秋元 克広	岩崎 深子	加藤 淑子	齋藤 克幸	清水 貴子	竹津 正士	名取 章	広田 美貴子	丸山 晃市	Fan You
阿久津 史恵	岩瀬 正明・洋子	金谷 眞紀子	齋藤 公美雄	周 珍	竹部 玉枝	鍋田 多美子	廣田 泰廣	水子 陽一	匿名
上松 瑛	氏家 武	金山 哲夫	齋藤 美年子	庄司 寿子	多田 富子	鳴海 美奈子	福田 実暉子	南 純子	ビクニック 募金
阿部 瑛子	氏家 公子	齊藤 韶子	齋藤 韶子	白土 二七子	田中 薫	西川 優	福本 順子	水沼 多江子	
阿部 和男	氏家 なを	河内 和子	齊藤 千代	白谷 和明	田中 桂子	西崎 裕子・孝	藤井 正一	三田 雅子	
安部 桂子	内柴 香緒理	河島 瑛子	齊藤 真理	須貝 伸一	田中 秀実	西野 洋子	藤井 亮子	宮川 和子	
阿部 裕昭	榎 和枝	川島 純	齊藤 美佳子	菅波 康郎	田中 義具	西本 幸文	伏木 忠了	村上 良平	
阿部 和加子	大城戸 瑞子	川端 晋太郎	齋藤 美登里	杉浦 民子	田辺 渡留	布村 倫子	藤田 慶一	村木 あさ子	
雨貝 尚子	大久保 玲子	河野 宣子	齋藤 淑子	杉中 隆三・佐智子	谷内 茂	根本 常子	藤田 澄江	目加田 恋	
天野 晶吉	大島 桂子	川本 悦子	齊藤 龍平	杉本 智子	谷口 亜美	野上 浩司	藤田 美音子	森口 力	
網谷 洋子	大角 恭子	神林 一恵	坂尻 康平	杉本 純子	谷口 哲雄	野上 まさ子	藤本 雄三	八木 宏三	
新木 葉子	大谷 慎一・洋子	菊池 まみ子	坂野 康子	杉本 猛	丹野 美佐江	野澤 千恵子	藤森 亜矢子	山際 豊重	
荒谷 留理子	大西 久恵	北野 みどり	坂本 慶子	杉本 敏	千田 昭子	信本 俊一	藤原 悦子	山口 豊二	
安藤 佳枝	大沼 良子	北村 清彦	佐々木 勇美	杉本 智子	千田 宏三	羽賀 俊子	藤原 俊彦	山崎 アヤ子	
井内 祐	大野 紀子	城戸 美喜子	佐々木 静栄	鈴木 喬	千葉 一晴	間力 清子	藤原 夏樹	山下 喜美子	
井浦 功雄	大間知 亜紀	工藤 由基子	笹田 政彦	鈴木 のりこ	千葉 稔	橋本 信夫	宝迫 美穂子	山田 政光	
五十嵐 好美	大矢 和史	佐藤 亜子	佐藤 亜子	鈴木 久恵	對馬 麻紀子	遠見 孝	寶諸 翠	山中 三知	
池田 里美	大和田 勝弘	倉岡 修子	佐藤 郁雄	鈴木 美智子	辻村 竹美	長谷川 ひろ子	星川 良子	山中 幸光	
池田 静子	岡部 文子	栗林 貴弘・由佳	佐藤 勝子	鈴木 陽子	鶴岡 匡像	長谷部 昭	星澤 昇	山本 真平	
石井 恵	荻野 弘子	栗原 丈千代	佐藤 桂子	須田 和子	寺田 百合子	畑 洋子	本田 晶子	湯原 光子	
石井 安子	奥村 茂樹	小池 明夫	佐藤 修子	須田 真彰	天日 彰子	八條 美奈子	本間 ひとみ	横路 孝弘	
石岡 奈緒美	奥村 昇	小泉 由美子	佐藤 延子	須田 恵	天日 一光	花井 美恵子	本間 二三子	横路 由美子	
石田 安貴良	奥村 道子	合田 由紀子	佐藤 はるみ	鷺見 武	徳永 純子	羽生 聖子	本間 雅代	横山 憲治	
石田 時也	小田 浩之	後藤 道	佐藤 道子	鷺見 陽子	徳永 洋	早川 ひろみ	牧原 和美	横山 圭子	
石塚 米子・史恩	越智 香江	小西 敦子	澤井 美津子	関 蓉子	徳永 隆史	原田 尚子	益田 運	横山 真	
石橋 喜重子	越智 満	小林 郁子	澤口 恵子	大 公一郎	戸谷 眞智子	増田 尚子	増田 雅子	吉川 千晶	
一色 晴子	越智 美代子	小川 路子	澤田 文子	高橋 久恵	高橋 久恵	樋口 淑子	増山 久子	吉田 ひろ子	
伊藤 一雄	小野 サダ子	近藤 崇	シアターキノ	高橋 実規子	高橋 実規子	永井 征男	平井 悦子	米澤 修吾	

(お名前前の読み方が間違っていましたらお許しください)

PMF2013 第1回カフェ・サロンのご案内

* 基調講話: 「PMF生みの親と盟友・レニーとハリリーの物語」 熊谷ユリヤ (英語会議通訳者/札幌大学教授)

* 「PMF2013 ここが聴きどころ」: (公財) PMF組織委員会

* 演奏: ミニ・コンサート PMF修了生 中島杏子 (チェロ) 能登谷安紀子 (ヴァイオリン)

* ティー・ブレイク (ケーキとお飲み物)

日時: 6月10日(月) 午後1時30分開演

会場: 札幌パークホテル 1F 森の中のパーティールーム・「ザ・テラスルーム」

参加費: 1,500円 (資料/茶菓代)

参加申し込みは、お名前、ご住所、お電話番号を記入の上、下記へFAXして下さい。

FAX番号は 011-827-5181 です。

「PMFを応援する会」のホームページからも申し込みが出来ます。どうぞご利用下さい。

開幕間近!! PMF 2013 「What's an Orchestra?」

◇ PMFと「オーケストラ」を知る ◇



今年もPMFの熱い季節がやってきます。PMFの楽しみは、何ととっても世界中から選抜された100名を超えるアカデミー生によって編成されるPMFオーケストラの演奏を聴くこと!!!。

勿論、PMFにはオーケストラ公演の他に素敵な室内楽や個人リサイタルなど盛りだくさんのプログラムが用意されていますが、やはり音楽祭の華はオーケストラです。PMFでは著名な指揮者陣の厳しい指導によって触発され、一日ごとに成長する若者たちが奏でる気宇壮大な演奏を聴くことができます。

以下は、PMFをきっかけにしてオーケストラを聴くかたのために、より一層楽しんでいただくための「オーケストラ入門」です。紙幅の関係で、今回はオーケストラの基本的な楽器と編成について述べてみます。

¶ 使う楽器は決まっているのですか？

大まかには決まっていますが、作曲家によって自由に決められます。ふつう、弦楽器、木管楽器、金管楽器、打楽器で、それにハーブやピアノが入ることがあります。(下記参照)

¶ それ以外の楽器は？

もちろん、作曲家が使いたければこれ以外の楽器も使えます。例えばチャイコフスキー《くるみ割り人形》のチェレスタ、ラヴェルの《ボレロ》にはサキソフォンの独奏があったり、サン=サーンスの第3交響曲にはパイプオルガンの壮大な響きが加わります。マーラーの《第7交響曲》では、ギターやマンドリン、カウベルまで使います。

¶ では、普通の編成では楽器の数は決まっているのですか？

おおまかに決まっています。古典の曲を演奏する場合の基本の組み合わせは<2管編成>といって、フルート2本/オーボエ2本/クラリネット2本/ファゴット2本/トランペット2本/ホルン2本・・・という風に管楽器が2本ずつの編成でバランスを作ります。しかし、使う和音が複雑になったり、より豊かな色彩が求められるようになると楽器の数を増やした<3管編成>も登場(フルート3本・・・以下同じ)、更に19世紀末からマーラーなどが<4管編成>のような大編成のオーケストラを求めるようになりました。但し、これはあくまで基本編成であって曲によっては指揮者の指示で変更することは結構あります。



¶ では、弦楽器の数は？

<2管編成>の場合、第1ヴァイオリン10人、第2ヴァイオリン8人、ヴィオラ6人、チェロ4人、コントラバス4人でバランスをとり、これが基本形です(10型といいます)。管楽器の数や曲の響きに合わせて<14型>など増えることもあれば、逆に減ることもあります。ちなみに弦楽器奏者はふたりで1台の譜面台を見ながら弾いています。ふたり1組を「1プル」と数えます。(12人だと6プル)。この場合、客席からみて奥の人(俗称「裏」)が譜面をめくります。

それでは、Kitaraで、芸術の森で、一緒にPMFオーケストラをはじめ多彩なコンサートを楽しみましょう!!

(註:通常では、「弦楽器」はヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス。「木管楽器」はフルート、オーボエ、クラリネット、ファゴット。「金管楽器」はトランペット、ホルン、トロンボーン、テューバ。「打楽器」はティンパニ、大太鼓、小太鼓、シンバルなど)

発行 PMFを応援する会

〒005-0854

札幌市南区常磐4条2丁目17-13

「カフェ・ディ・レニー」内

FAX:011-827-5181

お問い合わせ

080-6064-7811 (夜6時以降)

<http://pmf-support.main.jp/>

印刷協力 株式会社マルシン

編集後記 “男のロマンは妄想である”と誰かが言った。

重篤でないという条件付きだが、病気になるなら軽く悲壮感が漂い、情緒あるものもいい。だからぎっくり腰はとうてい切ないロマンスにはならない。動けない体を心配して面倒をみってくれる近所のおばさんを横目に見て、罰当たりにも、もう少し優しくして美人なら病気になるのも悪くないだろうに・・・などと不埒なことを思っている。彼のロマンとはこうだ。ぎっくり腰がきっかけで二人は親しくなり、その女性は仕舞の先生で、和服がすごく似合い、日陰に咲く水仙のようにたおやかな女性で、料理が抜群に上手で、帰宅すると天使の微笑で出迎えてくれる・・・云々。かくして彼のロマン(? 妄想)はしみじみと、くどくどと、だらだらと、今だに続いている。